

## R2・R1・ステラのリコールについて

平成23年3月17日

平成23年3月17日、富士重工業株式会社より、国土交通省にR2・R1・ステラのリコールを届け出いたしました。

お客さまへのお知らせとお願い

3月11日に発生した東北関東大震災の影響により、スバル販売店からのお客さまへのご連絡、並びに作業の実施が遅れることがあります。お客さまにはご心配、ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。円滑なリコールの実施に最大限努力して参りますので、ご理解をお願い申し上げます。

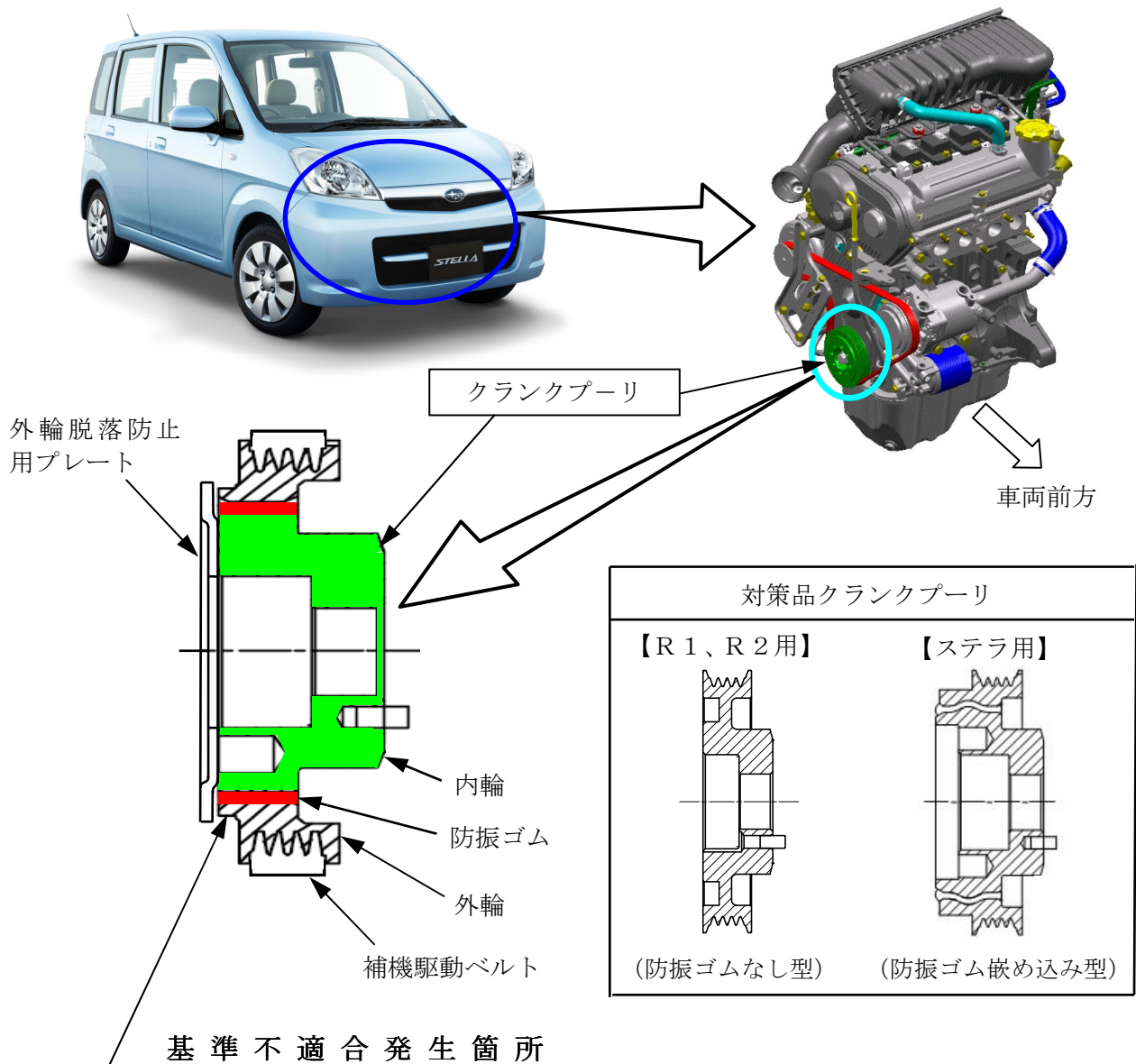
リコール届出番号	2721	リコール開始日	平成23年3月17日
不具合の部位(部品名)	原動機(クランクプーリ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	エンジンの防振ゴム付クランクプーリにおいて、当該防振ゴムの接着面が製造工程不良等のため、使用過程において剥離するものがある。そのため、当該クランクプーリの外輪が空転し、発電機が作動しなくなり、エンジンが停止するおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、クランクプーリと外輪脱落防止用プレートを取り外し、クランクプーリを対策品に交換する。また、当該作業時にクランクプーリと外輪脱落防止用プレートが接触している場合、又は、補機駆動ベルトの損傷が認められる場合は、補機駆動ベルトを新品に交換する。		
不具合件数	555件	事故の有無	0件
発見の動機	国土交通省からの指摘および市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者:ダイレクトメール、直接訪問又は電話で通知する。</li> <li>・自動車分解整備事業者:日整連発行の機関誌に記載する。</li> <li>・改善実施済車には、運転席側ドア開口部のドアロックストライカー付近にNo. 2721のステッカーを貼付する。</li> </ul>		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
スバル	UA-RC1 CBA-RC1 DBA-RC1	R2	RC1-002003~RC1-098015 平成15年11月28日~平成19年7月9日	27,977	
	UA-RC2 CBA-RC2 DBA-RC2		RC2-002001~RC2-037960 平成15年11月28日~平成19年5月28日	10,150	
	CBA-RJ1 DBA-RJ1	R1	RJ1-002006~RJ1-017007 平成16年12月15日~平成19年7月2日	5,606	
	CBA-RJ2 DBA-RJ2		RJ2-002002~RJ2-009263 平成16年12月15日~平成19年5月28日	1,566	
	DBA-RN1	ステラ	RN1-002001~RN1-048335 平成18年5月29日~平成19年6月1日	36,960	
	DBA-RN2		RN2-002003~RN2-018450 平成18年5月29日~平成19年6月1日	11,967	
	(計12型式)	(計3車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成15年11月28日~平成19年7月9日	(計94,226台)	

※対象車の車体番号及び製作期間の範囲には、対象にならない車体も含まれる場合がありますので、詳しくは最寄りの販売店にお問い合わせください。

(備考) 本届出は、平成20年7月17日付け届出番号「2147」にてリコール届出を行ったものであるが、改善措置の内容を見直し、新たに届出を行うものです。

# 改善箇所説明図



## 基準不適合発生箇所

エンジンの防振ゴム付クランクプーリにおいて、当該防振ゴムの接着面が製造工程不良等のため、使用過程において剥離するものがある。そのため、当該クランクプーリの外輪が空転し、発電機が作動しなくなり、エンジンが停止するおそれがある。

### 改善内容

全車両、クランクプーリと外輪脱落防止用プレートを取り外し、クランクプーリを対策品に交換する。また、当該作業時にクランクプーリと外輪脱落防止用プレートが接触している場合、又は、補機駆動ベルトの損傷が認められる場合は、補機駆動ベルトを新品に交換する。

### 識別

ストラットの取付ボルトの頭部に白ペイントを塗布する。

注:  は交換部品を示す。